



日本共産党・そねはじめレポート とうきょう民報おりにこみ版

2011年 6月22日発行 第 2 号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel: 3907-1135
Fax: 3906-3225

「成長戦略」「経済特区」の復興では漁民も水産加工業者も追い出される！ 避難所から出ればほとんど支援なしの「自立」を強制

まるで戦場のような津波をかぶった石巻の日本製紙工場



●ひっそりと支援を待つ住宅街・仮設住宅

6月11日から3日間、宮城県石巻市にある共産党のボランティアセンターを中心に、北区の党員男性6人で第一陣のボランティアとして訪問・活動してきました。

支援物資を届けた塩富町では、住宅被害は割合小規模ですが、車が流され買い物にいけず孤立していました。ハンドマイクで無料配布を呼びかけると急いで家々から出てきます。大声で言えなくても心の底では支援がほしいのだと痛感しました。

ドロだし作業で向かった仮設住宅はほとんど利用なし。

聞くと、「仮設住宅の当選者も7割が辞退する」と言います。個別住宅に入った途端に食料その他の支援がなくなるからです。ある方は「お金がないのに裸で放り出すようなものだ」とつぶやいていました。

●避難所は運営で大きな違いが..

市内に50ヶ所ほどある避難所の一つ、湊（みなと）小学校の避難所は、共産党市議の方が責任者で、みんなの意見を聞き、民主的で「いちばん」の運営と評判の所。一時1600人の避難者はかなりへりましたが今でも200人が暮らしています。海外からのボランティアの泥がついたパソコンに書かれた「おはよ！」の落書き

湊小学校の避難所の前で右からのの山区議、そね前都議



ンティアや激励が届き、大きな浴場も自力でカンパを集めて設営しました。一方、運営がうまくいかなかったり、学校再開で他に移転したり、避難所ごとに事情は様々です。少なくとも生活必需品の確保で差がつかないように、行政側の目配りが必要ではないかと思いました。

●港の復興を誰が主役で進めるか..

石巻港周辺は、工場も漁港も一面が瓦礫の山で、海岸に冷蔵庫から出した魚の死骸が山積みで、カモメが群がっていました。

ここ一面に「経済特区」の規制緩和をかけ、権利関係を一扫して一気にブルドーザーをかけ、企業のやり方で新しく造り変えようという「成長戦略」が今回成立した復興基本法に盛り込まれました。

そうすれば間違いなくぎりぎりでがんばってきた中小零細の漁業者や協同組合、水産加工場は追い出されるか成り立たなくなるでしょう。

希望者がみんな仕事に戻れるよう、地元が主人公になっての復興に、国が資金を保障するしくみをつくらなければ、神戸の長田町跡の開発ビルのように、ひと気のない港になってしまうと実感しました。

あけてびっくり！！国保料値上げが3倍以上の世帯も

北赤羽駅浮間口で、ながいとも子区議と国保料問題や放射能問題を訴えるそねはじめ前都議



●区議・区長選後の臨時区議会で審議もそこそくに区長の値上げを承認(自民・公明・民主・みんな・社民・あすか)

いぬいあきお区長候補や、区内の各団体から繰り返し警告が発せられ、日本共産党区議団も区議会でねばりづよく理不尽さを訴えてきた国保料の計算方法の変更による、一部に極端な値上げ(値上げ世帯は国保加入の7割)。ですが、6月11日からいっせいに通知が区民に届き、少しずつ驚きの声が上がっています。

下の表にあるように、極端なケースでは3倍以上に、一気に上がってしまった区民もあります。いままで、高齢者や障害者、子どもや親を扶養してきた場合が被害にあ

っています。「ひとりぐらしなのに値上げになった」という女性は「寡婦控除」がはずされたせいでした。国の補助金を減らすだけでなく加入者どうしの相互扶助まで破壊するやりかたです。

事例	年齢	人数	収入減	2010年	2011年の額	値上げ率	備考
1	58	5	自営	27500	45800	167%	今でも未納分あり
2	64	2	年金	51900(半年)	74859	244%	
3		1	自営	11900	39900	335%	
4	73	2	年金	43500(半年)	107034	246%	次男を扶養
5		4	自営	35000	50040	143%	区に苦情言った

6月22日には、区民団体からの「今後保険料を下げるために国や都の補助金を増額させて」という切実な陳情を審議する「区民生活委員会」が開かれます。花川区長の与党、自民・公明・民主・社民・みんな・あすかの各党は、どこまでも冷たい否決を繰り返すのでしょうか。

●北区からのボランティア第2陣が7月に東北へ出かけます。

6月に続いて、7月12日から3日間、北区の共産党の災害救援ボランティア部隊の第2陣が出発します。今回は、支援物資をトラックに満載して出かけたかと思っておりますので、下記の物資について、余っていたり、安売りの場所を知っていたら、そね事務所までお知らせください。

なによりも現金による募金が被災地の応援になります。今後とも東京民報読者のみなさまの温かいご支援をお願いいたします。

(欲しいのは、カセットボンベ、バスタオル、タオルケット、濡れティッシュ、粉石けん、殺虫剤など)

東京民報は“意外な有名人”のインタビューでヒットを続けています

◆東京のローカル新聞として「東京民報」は、小さな話題から大きな運動まで記事が満載です。

いま北区後援会長の岩垂(いわだれ)さんの、花の写真と文でつづる「道端に咲く」も連載中です。

◆6月19日の3周年記念号には、経済評論家の浜矩子さんがインタビューで登場しました。NHKの「マルクスの資本論を学ぼう」の特集番組に登場して、現代の恐慌は、資本主義が取り返しのつかない破綻に陥りつつある証明だと、ずばり言い切るなど、経済評論家の中でも信頼に足る人物の一人です。

◆そねはじめ前都議の活動も、次つぎと掲載される見通しです。